別記第3号様式（第7条、第12条関係）

施設整備項目表(建築物)

(第1面)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建築物の名称 | |  | | 用途 |  | | | |
| 工事種別 | | 新築・新設(用途変更を含む。)・増築・改築・移転・大規模の修繕・大規模の模様替 | | | 階数 | 地上　　階・地下　　階 | | |
| 階　別 | 階別用途(具体的用途) | | 新築等の部分の床面積 | 既存部分の床面積 | | | 床面積合計 | 戸数 |
| (　階) |  | | ㎡ | ㎡ | | | ㎡ | 戸 |
| (　階) |  | | ㎡ | ㎡ | | | ㎡ | 戸 |
| (　階) |  | | ㎡ | ㎡ | | | ㎡ | 戸 |
| (　階) |  | | ㎡ | ㎡ | | | ㎡ | 戸 |
| (　階) |  | | ㎡ | ㎡ | | | ㎡ | 戸 |
| 合　　　　　　　　　　計 | | | ㎡ | ㎡ | | | ㎡ | 戸 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 整備項目 | 整　　備　　基　　準 | 整　備　状　況 | 摘要 |
| 1　道等から各  室に至る経路  の敷地内の通  路、出入口及  び各室に至る  廊下等 | (1)　敷地内の通路  ア　幅員は、120cm以上  イ　通路の高低差(有の場合は、以下ウに記入)  ウ　高低差のある場合は、傾斜路及びその踊場又は車椅子使用者用昇降機の設置(傾斜路及びその踊場が有の場合は、以下(ア)から(カ)までに記入)  (ア)　幅員は、120cm以上(段を併設する場合は、90cm以上)  (イ)　勾配は、1/12以下(傾斜路高16cm以下の場合は、1/8以下)  (ウ)　高さ75cmごとの踊場の踏幅は、150cm以上  (エ)　手すりの設置  (オ)　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ  (カ)　傾斜路は、踊場及び通路と識別しやすいもの  エ　50m以内ごとに車椅子転回スペースの確保  オ　線状ブロック等の敷設又は音声による誘導装置の設置(共同住宅、自動車車庫その他視覚障害者の単独での利用が想定されない建築物を除く。)  カ　車路に近接する部分、段がある部分及び傾斜がある部分の上端に近接する部分には、点状ブロック等の敷設(共同住宅、自動車車庫その他視覚障害者の単独での利用が想定されない建築物を除く。) | 適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  傾斜路　車椅子使用者用昇降機  有　無　　有　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無 |  |
| (2)　出入口  ア　幅は、内80cm以上  イ　戸は、自動又は円滑に開閉して通過できる構造  ウ　車椅子使用者が通過する際支障となる段を設けないこと | 適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 |  |
| (3)　出入口から各室に至る廊下等  ア　廊下等の幅は、内120cm以上  イ　廊下等の末端付近及び50m以内ごとに車椅子転回スペースの確保  ウ　廊下等の高低差(有の場合は、以下エに記入)  エ　廊下等に高低差のある場合の傾斜路及び踊場又は車椅子使用者用昇降機の設置(傾斜路及びその踊場が有の場合は、以下(ア)から(キ)までに記入)  (ア)　幅は、内120cm以上(段を併設する場合は、90cm以上)  (イ)　勾配は、1/12以下(傾斜路高16cm以下の場合は、1/8以下)  (ウ)　高さ75cmごとの踊場の踏幅は、150cm以上  (エ)　手すりの設置  (オ)　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ  (カ)　傾斜路は、踊場及び廊下等と識別しやすいもの  (キ)　傾斜路の上端の点状ブロック等の敷設(学校等、共同住宅、自動車車庫その他視覚障害者の単独での利用が想定されない建築物を除く。)  オ　(2)の構造の出入口、エレベーター及び車椅子使用者用昇降機の昇降路の出入口部の水平確保  カ　病院等及び身体障害者社会参加支援施設等の廊下等に手すりの設置 | 適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  傾斜路　車椅子使用者用昇降機  有　無　　有　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無 |  |
| (4)　(2)の出入口から受付等までの線状ブロック等の敷設又は視覚障害者を誘導する装置の設置(共同住宅、自動車車庫その他視覚障害者の単独での利用が想定されない建築物を除く。) | 有　　　　　　　　無 |  |

(第2面)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 整備項目 | 整　　備　　基　　準 | 整　備　状　況 | 摘要 |
| 2 車椅子使用  者用駐車区画  から各室に至  る経路の駐車  場内の通路、  敷地内の通  路、出入口及  び各室に至る  廊下等 | (1)　駐車場の設置(有の場合、(2)に記入) | 有　　　　　　　　無 |  |
| （2)　車椅子使用者用駐車区画  ア　全駐車台数の50分の1以上(全駐車台数が200台を越える場合は、台数の100分の1に2を加えた数以上)が、車椅子使用者用駐車区画  イ　車椅子使用者用駐車区画は、出入口に近い位置に設置（屋根又はひさしを設けるために、やむを得ず距離が長くなる場合を除く。）  ウ　幅は、350cm以上  エ　車椅子使用者用駐車区画の表示(全駐車台数が5台以上の場合は、以下（ア）及び（イ）に記入）  (ア)　駐車区画の車体用スペースの床面の青色塗装及び障害者のための国際シンボルマークの白色塗装表示  (イ)　車椅子使用者用駐車区画の標識 | 適　　　　　　　　否  車椅子駐車区画　　台（全　　台）  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無 |  |
| (3)　駐車場内の通路(1の項の通路又は(4)の敷地内の通路と重複する場合は、記入を要しない。)  ア　幅員は、120cm以上  イ　通路の高低差(有の場合は、以下ウに記入)  ウ　高低差のある場合の傾斜路及び踊場又は車椅子使用者用昇降機の設置(傾斜路及びその踊場が有の場合は、以下(ア)から(カ)までに記入)  (ア)　幅員は、120cm以上(段を併設する場合は、90cm以上)  (イ)　勾配は、1/12以下(傾斜路高16cm以下の場合は、1/8以下)  (ウ)　高さ75cmごとの踊場の踏幅は、150cm以上  (エ)　手すりの設置  (オ)　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ  (カ)　傾斜路は、踊場及び通路と識別しやすいもの | 適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  傾斜路　車椅子使用者用昇降機  有　無　　有　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 |  |
| (4)　敷地内の通路(1の項の通路と重複する場合は、記入を要しない。)  ア　幅員は、120cm以上  イ　通路の高低差(有の場合は、以下ウに記入)  ウ　高低差のある場合の傾斜路及び踊場又は車椅子使用者用昇降機の設置(傾斜路及びその踊場が有の場合は、以下(ア)から(カ)までに記入)  (ア)　幅員は、120cm以上(段を併設する場合は、90cm以上)  (イ)　勾配は、1/12以下(傾斜路高16cm以下の場合は、1/8以下)  (ウ)　高さ75cmごとの踊場の踏幅は、150cm以上  (エ)　手すりの設置  (オ)　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ  (カ)　傾斜路は、踊場及び通路と識別しやすいもの | 適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  傾斜路　車椅子使用者用昇降機  有　無　　有　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 |  |
| (5)　出入口(1の項と同じ出入口の場合は、記入を要しない。)  ア　幅は、内80cm以上  イ　戸は、自動又は円滑に開閉して通過できる構造  ウ　車椅子使用者が通過する際支障となる段を設けないこと | 適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 |  |
| (6)　出入口から各室に至る廊下等(1の項と同じ廊下等の場合は、記入を要しない。)  ア　廊下等の幅は、内120cm以上  イ　廊下等の末端付近及び50m以内ごとに車椅子転回スペースの確保  ウ　廊下等の高低差(有の場合は、以下エに記入)  エ　廊下等に高低差のある場合の傾斜路及び踊場又は車椅子使用者用昇降機の設置(傾斜路及びその踊場が有の場合は、以下(ア)から(キ)までに記入)  　(ア)　幅は、内120cm以上(段を併設する場合は、90cm以上)  (イ)　勾配は、1/12以下(傾斜路高16cm以下の場合は、1/8以下)  (ウ)　高さ75cmごとの踊場の踏幅は、150cm以上  (エ)　手すりの設置  (オ)　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ  (カ)　傾斜路は、踊場及び廊下等と識別しやすいもの  (キ)　傾斜路の上端の点状ブロック等の敷設(学校等、共同住宅、自動車車庫その他視覚障害者の単独での利用が想定されない建築物を除く。)  オ　(5)の構造の出入口、エレベーター及び車椅子使用者用昇降機の昇降路の出入口部の水平確保  カ　病院等及び身体障害者社会参加支援施設等の廊下等に手すりの設　　　置 | 適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  傾斜路　車椅子使用者用昇降機  有　無　　有　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無 |  |

(第3面)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 整備項目 | 整　　備　　基　　準 | 整　備　状　況 | 摘要 |
| 3　各室の出入  口 | (1)　各室の1以上の出入口について、以下アからウまでに記入  ア　幅は、内80cm以上  イ　戸は、自動又は円滑に開閉して通過できる構造  ウ　車椅子使用者が通過する際支障となる段を設けないこと | 適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 |  |
| 4　廊下等 | (1) 表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ | 適　　　　　　　　否 |  |
| (2)　廊下等の段(有の場合は、以下アからオまでに記入)  ア　手すりの設置  イ　回り段を設けないこと  ウ　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ  エ　踏面端部とその周囲の色は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい  構造  オ　段の上端に近接する廊下等及び踊場に点状ブロック等の敷設(学校等、共同住宅、自動車車庫その他視覚障害者の単独での利用が想定されない建築物を除く。) | 有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無 |  |
| 5　階段 | (1)　階段の設置(有の場合は、以下アからオまでに記入)  ア　手すりの設置  イ　主たる階段は、回り段を設けないこと  ウ　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ  エ　踏面端部とその周囲の色は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい  構造  オ　階段の上端に近接する廊下等及び踊場に点状ブロック等の敷設(学校等、共同住宅、自動車車庫その他視覚障害者の単独での利用が想定されない建築物を除く。) | 有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無 |  |
| 6　エレベー  　　ター | (1)　用途面積が2,000㎡以上の場合(共同住宅を除く。)のエレベーターの設置(有の場合は、以下アからセまでに記入)  ア　籠の間口は、内140cm以上  イ　籠の奥行きは、内135cm以上  ウ　籠の平面形状は、車椅子の転回に支障のないもの  エ　籠内には、停止階、現在位置の表示装置  オ　音声で籠内の到着階、出入口の戸の閉鎖を知らせる装置  カ　籠の背面には、平面鏡の設置  キ　籠内の側板には、手すりの設置  ク　エレベーターの出入口の幅は、内80cm以上  ケ　籠内及び乗降ロビーに、車椅子使用者が操作しやすい制御装置  コ　籠内及び乗降ロビーに設ける制御装置(ケに規定する制御装置を除く。)は、点字により表示する等視覚障害者が円滑に操作できる構造  　サ　乗降ロビーは、高低差がないものとし、その幅及び奥行きは、内  150cm以上  シ　乗降ロビーには、昇降方向を音声により知らせる装置及び昇降方向を画像等により表示する装置(無の場合は、籠内に籠及び昇降路の出入口開閉時に昇降方向を音声により知らせる装置及び昇降方向を画像等により表示する装置)  ス　籠内の一般用の操作盤には、停電等の非常の場合に外部の対応状  況を聴覚障害者が認識できる表示装置  　　セ　障害者、高齢者等の見やすい位置に、表示内容が容易に識別できる案内表示 | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無 |  |
| (2)　用途面積が2,000㎡未満の公共的施設(共同住宅を除く。)又は共同住宅のエレベーターの設置（有の場合は、以下アからオまでに記入）  ア　籠の間口は、85cm以上  イ　籠の奥行きは、135cm以上  ウ　籠内には、停止階、現在位置の表示装置  エ　籠及び昇降路の出入口の幅は、内80cm以上  　 オ　籠内に鏡の設置 | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無 |  |
| (3)　直接地上へ通ずる出入口がない階を有し、避難階に常時勤務する者のいない公共的施設で用途面積が2,000㎡未満のもの(共同住宅を除く。)にエレベーターを設置しない場合の受付、インターホン等の設置（直接地上へ通ずる出入口を有する階に他の階で提供されるサービス等を障害者、高齢者等が享受することができる措置を講ずる場合を除く。）（有の場合は、以下ア及びイに記入）  ア　1の項(1)に定める構造の敷地内の通路から利用できること  イ　インターホン等を設ける場合においては、車椅子使用者が容易に使用できる構造であること | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 |  |

(第4面)

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 整備項目 | 整　　備　　基　　準 | | | 整　備　状　況 | | 摘要 |
| 7　便所 | (1)　便所の設置 | | | 有　　　　　　　　無 | |  |
| (2)　便所の構造について、以下ア及びイに記入  ア　床は、滑りにくい仕上げ  イ　手洗いの水栓器具(レバー式、光感知式、その他) | | | 適　　　　　　　　否  有(　　　　　　)　無 | |  |
| (車椅子使用者用便房の設置数) | 男子用　　　　　　か所 | 女子用　　　　　　か所 | | 共用　　　　か所 |  |
| (3)　車椅子使用者用便房を1以上を設置している便所の構造について、以下アからケまでに記入  ア　車椅子使用者用便房及び便所の出入口の幅は、内80cm以上  イ　車椅子使用者用便房及び便所の戸は、円滑に開閉して通過できる  構造  ウ　床は、段を設けないこと  エ　手洗いの高さは、車椅子使用者の使用が容易なもの  オ　車椅子使用者用便所の表示  カ　車椅子使用者用便房の大きさ(間口×奥行)  キ　手すりの設置  ク　腰掛便座の設置  ケ　大便器の洗浄装置(くつべら式、光感知式、その他) | | | 適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否    適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  cm×　　　cm  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  有(　　　　　　)　無 | |  |
| (4)　車椅子使用者用便房を設置していない便所の構造について、以下アに記入  ア　腰掛式便器又は手すりを設けた便房 | | | 有　　　　　　　　無 | |  |
| (5)　男子用小便器のある便所の設置(有の場合は、以下ア及びイに記入)  ア　床置式、受け口高さが35cm以下の壁掛式又はこれに類する型式の小  便器の設置  イ　病院等及び身体障害者社会参加支援施設等の床置式等小便器の手すりの設置 | | | 有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無    有　　　　　　　　無 | |  |
| (6)　病院等、図書館・博物館等、官公庁舎、百貨店等、飲食店等、展示場等、劇場・映画館等又は遊技場等で用途面積が1,000㎡以上のもの並びに集会場等及び体育館等のうち観覧席又は客席部を有するもので用途面積が1,000㎡以上のものに便所を設ける場合のみ以下ア及びイに記入。ただし、通常乳幼児を連れて利用されることのないものについては、この限りでない。  ア　乳幼児椅子及び乳幼児ベッド  イ　乳幼児椅子及び乳幼児ベッドを設けている旨の表示 | | | 有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無 | |  |
| (7)　オストメイト対応設備  ア　汚物流し、給湯設備、荷物棚、水石けん入れ、紙巻器、汚物入れ及び衣服を掛けるための金具を設置した便房（無の場合は、イに記入）  イ　（用途面積が200㎡未満で）簡易型の洗浄装置を設置した便房  ウ　オストメイトのための設備の表示 | | | 有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無 | |  |
| 8　駐車場内の  通路 | (1)　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ | | | 適　　　　　　　　否 | |  |
| (2)　段の設置(有の場合は、以下アからエまでに記入)  ア　手すりの設置  イ　主たる階段は、回り段を設けないこと  ウ　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ  エ　踏面端部とその周囲の色は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造 | | | 有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 | |  |
| (3)　排水溝の設置(有の場合は、以下アからウまでに記入)  ア　排水溝の溝ぶたの設置  イ　排水溝の溝ぶたは、滑りにくい仕上げ  ウ　排水溝の溝ぶたは、キャスター及び杖等が落ちないもの | | | 有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 | |  |
| 9　敷地内の通  路 | (1)　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ | | | 適　　　　　　　　否 | |  |
| (2)　段の設置(有の場合は、以下アからエまでに記入)  ア　手すりの設置  イ　主たる段階は、回り段を設けないこと  ウ　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ  エ　踏面端部とその周囲の色は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造 | | | 有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 | |  |
| (3)　排水溝の設置(有の場合は、以下アからウまでに記入)  ア　排水溝の溝ぶたの設置  イ　排水溝の溝ぶたは、滑りにくい仕上げ  ウ　排水溝の溝ぶたは、キャスター及び杖等が落ちないもの | | | 有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 | |  |

(第5面)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 整備項目 | 整　　備　　基　　準 | 整　備　状　況 | 摘要 |
| 10　観覧席及び  　客席 | (1)　観覧席又は客席の総数 | 席 |  |
| (2)　車椅子使用者用観覧席又は客席の席数(席の数が100席以下の場合 　 は1以上、100席を超え400席以下の場合は2以上、400席を超える場合  は2に400席を超える席数200席ごとに1を加えた数以上) | 席 |  |
| (3)　各車椅子使用者用観覧席又は客席の1席当りの大きさ(間口×奥行) | cm×　　　cm |  |
| (4)　観覧席又は客席を有する室の出入口から、車椅子使用者用の席に至  るそれぞれ1以上の通路について、以下アからエまでに記入  ア　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ  イ　幅は、内120cm以上  ウ　通路の高低差(有の場合は、以下エに記入)  エ　通路に高低差のある場合の傾斜路及びその踊場の設置(有の場合 　　 は、以下(ア)から(エ)までに記入)  (ア)　幅は、内120cm以上(段を併設する場合は、90cm以上)  (イ)　勾配は、1/12以下(傾斜路高16cm以下の場合は、1/8以下)  (ウ)　高さ75cmごとの踊場の踏幅は、150cm以上  (エ)　表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ | 適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 |  |
| 11　浴室 | (1)　浴室の設置(有の場合は、以下アからカまでに記入)  ア　洗い場及び脱衣所の出入口の幅は、内80cm以上  イ　洗い場及び脱衣所の戸は、自動又は円滑に開閉して通過できる構  造  ウ　洗い場及び脱衣所の出入口は、車椅子使用者が円滑に通過できる  構造  エ　浴槽、洗い場及び脱衣所の手すりの設置  オ　浴槽、洗い場及び脱衣所の腰掛台の設置  カ　水栓器具(レバー式、光感知式、その他) | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  有(　　　　　　)　無 |  |
| 12　客室 | (1)　客室総数の100分の1以上の客室が車椅子使用者対応客室 | 適　　　　　　　　否  対応客室　　室(全　　　　室) |  |
| (2)　出入口  ア　幅は、内80cm以上  イ　戸は、自動又は円滑に開閉して通過できる構造  ウ　車椅子使用者が通過する際支障となる段を設けないこと | 適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 |  |
| (3)　室内は、十分な床面積が確保されているなど障害者、高齢者等が円  滑に利用できる配慮 | 適　　　　　　　　否 |  |
| (4)　客室内に車椅子使用者用便房の設置(有の場合は、以下アに記入)  ア　車椅子使用者便房の構造について、以下(ア)から(コ)までに記入  (ア)　車椅子使用者用便房の大きさ(間口×奥行)  (イ)　出入口の幅は、内80cm  (ウ)　戸は、円滑に開閉して通過できる構造  (エ)　床は、滑りにくい仕上げ  (オ)　床は、段を設けないこと  (カ)　手洗いの水栓器具(レバー式、光感知式、その他)  (キ)　手洗いの高さは、車椅子使用者の使用が容易なもの  (ク)　手すりの設置  (ケ)　腰掛便座の設置  (コ)　大便器の洗浄装置(くつべら式、光感知式、その他) | 有　　　　　　　　無  cm×　　　cm  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有(　　　　　　)　無  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  有(　　　　　　)　無 |  |
| (5)　客室内に車椅子使用者用浴室の設置(有の場合は、以下アからキまでに記入)  ア　洗い場及び脱衣所の出入口の幅は、内80cm以上  イ　洗い場及び脱衣所の戸は、自動又は円滑に開閉して通過できる構  造  ウ　洗い場及び脱衣所の出入口は、車椅子使用者が円滑に通過できる  構造  エ　浴槽の適切な設置  オ　浴槽、洗い場及び脱衣所の手すりの設置  カ　浴槽、洗い場及び脱衣所の腰掛台の設置  キ　水栓器具(レバー式、光感知式、その他) | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  有(　　　　　　)　無 |  |

(第6面)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 整備項目 | 整　　備　　基　　準 | 整　備　状　況 | 摘要 |
| 13　更衣室及び  　シャワー室 | (1)　更衣室の設置(有の場合は、以下アからカまでに記入)  ア　更衣室は、障害者、高齢者等が円滑に利用できる床面積の確保  イ　出入口の幅は、内80cm以上  ウ　戸は、自動又は円滑に開閉して通過できる構造  エ　車椅子使用者が通過する際支障となる段を設けないこと  オ　手すりの設置  カ　腰掛台の設置 | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無 |  |
| (2)　シャワー室の設置(有の場合は、以下アからカまでに記入)  ア　シャワー室は、障害者、高齢者等が円滑に利用できる床面積の確  　　　保  イ　出入口の幅は、内80cm以上  ウ　戸は、自動又は円滑に開閉して通過できる構造  エ　車椅子使用者が通過する際支障となる段を設けないこと  オ　手すりの設置  カ　腰掛台の設置 | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無 |  |
| 14　休憩場所及  　び授乳場所 | (1)　病院等、図書館・博物館等、官公庁舎、百貨店等、飲食店等、展示場等、劇場・映画館等又は遊技場等で用途面積が5,000㎡以上のもの並びに集会場等及び体育館等のうち観覧席又は客席部を有するもので用途面積が5,000㎡以上の施設のみ以下ア及びイに記入  ア　休憩場所の設置  イ　授乳場所の設置(有の場合は、以下(ア)から(エ)までに記入)  (ア)　授乳を行うための椅子、乳幼児ベッド及び汚物入れ  (イ)　洗面器又は流し台  (ウ)　授乳室は、壁又は固定式のついたて等により外部から見通し  のできないもの  (エ)　授乳場所の表示 | 有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  有　　　　　　　　無 |  |
| 15　カウンター  　及び記載台 | (1)　カウンター又は記載台の設置(有の場合は、以下アに記入)  ア　障害者、高齢者等の利用に配慮した構造 | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否 |  |
| 16　公衆電話台 | (1)　公衆電話台の設置(有の場合は、以下アに記入)  ア　障害者、高齢者等の利用に配慮した構造 | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否 |  |
| 17　水飲み場 | (1)　水飲み場の設置(有の場合は、以下アに記入)  ア　障害者、高齢者等の利用に配慮した構造 | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否 |  |
| 18　レジ通路 | (1)　レジ通路の設置(有の場合は、以下アに記入)  ア　障害者、高齢者等の利用に配慮した構造 | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否 |  |
| 19　案内板等 | (1)　案内板等の設置(有の場合は、以下ア及びイに記入)  ア　高さ、文字の大きさ及び表示等に配慮し、分かりやすいもの  イ　点字による表示又は音声その他の方法により視覚障害者が円滑に利用できる構造 | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 |  |
| (2)　車椅子使用者用便所の案内表示 | 有　　　　　　　　無 |  |
| 20　避難設備 | (1)　病院等、集会場等、百貨店等、ホテル等及び劇場・映画館等で自動  火災報知設備の設置がある場合は、点滅機能及び音声誘導機能を備え  た避難口誘導灯の設置 | 有　　　　　　　　無 |  |
| (2) 防火戸にくぐり戸の設置(有の場合は、以下ア及びイに記入)  ア　幅は、80cm以上  イ　車椅子使用者が通過する際に支障となる段を設けないこと | 有　　　　　　　　無  適　　　　　　　　否  適　　　　　　　　否 |  |